

年度	2019年度	開講部局	工学研究科博士課程前期		
講義コード	U0640102	科目区分	専門的教育科目		
授業科目名	技術移転論				
授業科目名 (フリガナ)	ギジュツイテンロン				
英文授業科目名	Technology Transfer				
担当教員名	伊藤 孝夫				
担当教員名 (フリガナ)	イトウ タカオ				
研究室の場所	C1-212	内線番号	5594		
E-mailアドレス	itotakao@hiroshima-u.ac.jp				
開講キャンパス	東広島	開設期	1年次生 前期 2ターム		
曜日・時限・講義室	(2T)月3-4:工220, (2T)木3-4:工218				
授業の方法	講義	授業の方法 【詳細情報】	講義を中心に、学生による発表、演習、討議形式も実施		
単位	2	週時間	4	使用言語	J:日本語
対象学生	すべての大学院生				
学修の段階	6:大学院専門的レベル				
学問分野(分野)	21:社会人基礎				
学問分野(分科)	05:ダイバーシティ				
授業のキーワード	海外直接投資、経営資源、特許、アントレプレナーシップ、現地化戦略、オープンイノベーション				
教職専門科目		教科専門科目			
プログラムの中での この授業科目の 位置づけ					
到達度評価の評価項目					
授業の目標・概要等	<p>目標：技術移転の実態を、技術の移転側と受入側の視点から、技術移転の実務を説明することができる。</p> <p>概要：技術移転の実態を、技術の移転側と受入側の視点から、技術移転の実務考察しながら、海外直接投資をはじめ、経営資源、特許、アントレプレナーシップ、現地化戦略および、事例研究としての造船や自動車などのケースメソッドを用いて、技術移転の成功要因を詳しく説明する。</p>				
授業計画	<p>第1回 開講の目的とガイダンス</p> <p>第2回 シャープ(株) AIoT商品・サービス技術開発の事例紹介</p> <p>第3回 技術移転とイノベーション：日立建機の事例</p> <p>第4回 技術移転：精米機の事例</p> <p>第5回 海外研究機関(アメリカ)絡む技術移転の戦略</p> <p>第6回 SKYACTIVエンジン開発 - マツダの技術・開発プロセス革新 -</p> <p>第7回 企業の研究開発戦略とイノベーション</p> <p>第8回 「欧州流技術開発」 - 効率的・合理的な開発プロセス -</p> <p>第9回 ゼロエミッションに向けた自動車の将来技術戦略</p> <p>第10回 技術移転とイノベーション：カルビーの事例</p> <p>第11回 技術移転：造船の事例</p> <p>第12回 技術移転をみずえた技術・知財戦略</p> <p>第13回 グループディスカッション</p> <p>第14回 技術移転とイノベーション：ローツェの事例</p> <p>第15回 まとめ</p> <p>レポートと試験を実施する予定</p>				
教科書・参考書等	<p>1) 丹波清(2006) 技術経営論, 東京大学出版会.</p> <p>2) M.E. ポーター(1982) 競争の戦略, ダイヤモンド社.</p> <p>3) Janet Morrison (2002) The Global Business Environment, Third Edition, Palgrave Macmillan.</p> <p>4) Arnulf Grubler (1998) Technology and Global Change, Cambridge University Press.</p>				
授業で使用する メディア・機器等	テキスト, 配付資料, 音声教材, 映像などを利用				
予習・復習への アドバイス	予習・復習をし、技術移転の本質をはじめ、技術と戦略の関係、企業経営における技術の役割などを理解する。				
履修上の注意 受講条件等	特になし。確率統計学と微積分の基礎知識を求められる時がある。問題意識を持って学習し、積極的に質問することを歓迎する。				
成績評価の基準等	取組態度25% + レポートなど30% + 試験45%				

メッセージ	理工系の大学院のみなさんは各自の専門領域の学問を研鑽することが第一であるが、就職後、自分の専門技術をいかに企業経営に役に立つかを考えておく必要がある。本講義においては、MOTとベンチャービジネス（MOT-1）をベースに、戦略と技術の関係を説明すると同時に、多くの事例学習を通じて、技術移転に関する知識とノウハウを学習する。また、講師、特に学外講師に対してはエチケット厳守。
その他	学期末に授業評価アンケートを実施します。回答に協力してください。 回答に対しては教員からコメントを入力し、改善につなげていきます。
すべての授業科目において、授業改善アンケートを実施していますので、回答に協力してください。 回答に対しては教員からコメントを入力しており、今後の改善につなげていきます。	